



JASDAQ

平成 24 年 2 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 EMCOM ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 上野 良治
(JASDAQ・コード 7954)
問合せ先 執行役員経営企画部長 高森 眞子登
電話 050-3155-4370

当社連結子会社（特定子会社）持分の譲渡に関する持分譲渡契約締結のお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 29 日開催の取締役会において、当社が保有する英脈特信息技术（無錫）有限公司（本店：中国江蘇省、代表取締役社長：徐 躍平、以下「英脈特信息技术」）の全持分および当社 100% 連結子会社である EMCOM 株式会社（本店：東京都品川区、代表取締役社長：金学敏、以下 EMCOM）が保有する、英科睦軟件技術（大連）有限公司（本店：中国大連市、代表取締役社長：徐 躍平、以下「英科睦軟件技術」）の全持分を、英極軟件（大連）股份有限公司（本店：中国遼寧省、代表取締役社長：徐 躍平、以下「英極軟件」）に譲渡することを決議し、同日付で当社、EMCOM 及び英極軟件の間で出資持分譲渡契約（以下「本契約」）を締結致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 本持分譲渡の経緯

当社は、EMCOM を中心とした当社の金融・システム事業（以下「金融事業」）においては、当社グループはインターネットビジネスにおける金融システムの開発及びコンサルティングをコア・コンピタンスとして、それらの高度な専門性とノウハウを活用した金融サービスのレベニューシェア型 ASP 事業を中心に、事業の収益力強化と将来の事業価値創造に向けた取り組みを推進してまいりました。

具体的には、当社グループのシステム開発拠点である子会社「英脈特信息技术」において OTC-FX 取引サービスをはじめとした金融システムの開発、コンサルティングに関する事業をはじめ、高い技術競争力とコスト優位性を生かした受託開発・BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・web アプリケーション開発事業等を行い、クライアント企業に提供し、各取引サービスに適した機能改善とサービス拡充を継続的に実施することで収益力の強化を図ってまいりました。

また、「英科睦軟件技術」においても同様に、金融システムの開発、コンサルティングに関する事業をはじめとするシステム開発事業等を行ってまいりました。

しかしながら、平成 22 年 12 月期における当社子会社（株式会社 EMCOM CONSULTING）の FX 事業及び有価証券関連事業の譲渡により当社グループの収益構造に変化が生じたこと、市況の変動により金融サービスのレベニューシェア型 ASP 事業の業績が伸び悩んだこと、平成 23 年 8 月に施行された FX 取引におけるレバレッジ 25 倍規制の影響を受けたこと、またシステム受託開発の受注時期の変更があったこと等を要因に、平成 23 年 12 月期における金融事業におけるセグメント利益は前年同期に比べ大幅な下落となりました。（対前年同期 2,648 百万円の減少）

当社のおかれているこれらの状況を踏まえ、譲渡先を模索し複数の有力先と接触を重ねてまいりました。特に、今回の持分譲渡に関しては、譲渡先様にとっても歓迎されうる候補先、いわゆる譲渡先様の事業シナジーの見込める事業パートナーに対して譲渡を行うことを検討してまいりました。

こうした中、従前当社の連結会社でありました「英極軟件」から、当社グループの今後の事業計画に対してご理解を頂き、持分譲渡の意思表示をいただきましたため、当社といたしましては「英脈特信息技术」および「英

科睦軟件技術」の持分譲渡を決定いたしました。

当社グループといたしましては、韓国におきましてFX事業の展開可能性を検討すべく、その準備会社として平成23年10月にEMCOM KOREA CO., LTDを設立いたしました。現在、今後の成長への布石として韓国を中心とした海外事業の強化に取り組んでおり、受託開発・BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・webアプリケーション開発等をはじめとするシステム開発事業においては、高度な技術競争力とオフショア開発によるコスト優位性のあるサービスについてのシステム開発の拠点を韓国にシフトすることにより、今後も引き続き安定的に提供できる体制を構築してまいります。

また、今後の当社グループの事業展開として既存の金融事業及び不動産事業だけでは厳しい状況と考えられます。そのため、これまで当社のコアコンピタンスとしての位置付けであった金融事業に加え、新規事業分野の発掘・開拓を積極的に行い、新規販売チャネルの構築に努めるというテーマのもと、平成24年1月31日付適時開示にてお知らせいたしましたとおり、世界的に話題の格闘技イベント「K-1」ブランドをライセンスし展開することを開始いたしました。

今後につきましては、金融事業とエンタテインメント事業及び本日付適時開示にてお知らせいたしました旅行商品販売事業を当社グループの柱として位置付け、事業に邁進してまいります。

2. 異動する子会社（英脈特信息技术）の概要

(1) 名 称	英脈特信息技术（無錫）有限公司		
(2) 所 在 地	中国・江蘇省無錫市濱湖区錦溪路 100 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 徐 躍平		
(4) 事 業 内 容	ソフトウェア製品および相関ハードウェア製品、ネットワーク製品の開発と販売 コールセンター業務・BPO業務		
(5) 資 本 金	336 万 USD (307,893 千円)		
(6) 設 立 年 月 日	平成 22 年 2 月 5 日		
(7) 大株主及び持株比率	当社 50% 英極軟件（大連）股份有限公司 50%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係			
資 本 関 係	本日現在において、当社が当該会社の持分 50%を保有しております。		
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。なお、徐 躍平氏は当社の元代表取締役社長であります。		
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。お、当社子会社でありますEMCOM CONSULTINGからシステム開発の受注をしております。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者（連結子会社）に該当いたします。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態	(単位：百万円)		
決算期	平成 21 年 12 月	平成 22 年 12 月	平成 23 年 12 月
純 資 産	-	295	379
総 資 産	-	319	411
売 上 高	-	141	465
営 業 利 益	-	1	77
経 常 利 益	-	18	83
当 期 純 利 益	-	18	83

※ 平成22年2月5日設立のため、平成21年12月期実績はございません。

異動する子会社（英科睦軟件技術）の概要

(1) 名 称	英科睦軟件技術（大連）有限公司		
(2) 所 在 地	中国・大連市高新園区火炬路 32 号衆利大厦 B 座 25 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 徐 躍平		
(4) 事 業 内 容	システム開発 システムマネジメント		
(5) 資 本 金	200 万元 (29,420 千円)		
(6) 設 立 年 月 日	2006 年 7 月 25 日		
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%連結子会社である EMCOM 株式会社が当該会社の持分 100%を保有しております。		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係			
資 本 関 係	本日現在において、当社 100%連結子会社である EMCOM 株式会社が当該会社の持分 100%を保有しております。		
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。なお、徐 躍平氏は当社の元代表取締役社長であります。		
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。なお、当社子会社であります EMCOM CONSULTING からシステム開発の受注をしております。		
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者（連結子会社）に該当いたしません。		
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態	(単位：百万円)		
決算期	平成 21 年 12 月	平成 22 年 12 月	平成 23 年 12 月
純 資 産	136	146	178
総 資 産	182	187	221
売 上 高	355	279	298
営 業 利 益	29	13	39
経 常 利 益	23	27	37
当 期 純 利 益	18	22	32

3. 持分譲渡契約の相手方の概要

(1) 名 称	英極軟件（大連）股份有限公司		
(2) 所 在 地	中国遼寧省大連高新園区火炬路 32 号衆利大厦 B 座 26 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 徐 躍平		
(4) 事 業 内 容	WEBシステム開発、システム監視保守、テクニカルセンター業務		
(5) 資 本 金	268 万 USD (314,353 千円)		
(6) 設 立 年 月 日	2000 年 10 月 18 日		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係			
資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。		
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。なお、徐 躍平氏は当社の元代表取締役社長であります。		
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。		

		なお、当社子会社でありますEMCOM CONSULTINGからシステム開発の受注をしております。		
	関連当事者への 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態		(単位：百万円)		
	決算期	平成21年 12月	平成22年 12月	平成23年 12月
	純 資 産	579	759	1,104
	総 資 産	605	808	1,143
	売 上 高	209	527	566
	営 業 利 益	124	226	295
	経 常 利 益	98	189	299
	当 期 純 利 益	86	149	254

※ なお、英極軟件(大連) 股份有限公司(旧：英極軟件開発(大連)有限公司) に関しましては、従前、当社連結子会社であり連結対象会社でありましたが、平成23年12月期連結会計年度における第4四半期首において連結対象から除外しております。

4. 譲渡前後の当社が保有する英脈特信息技术の所有持分の状況

(1) 異動前の所有持分	所有割合：50%
(2) 譲渡持分	50%
(3) 異動後の所有持分	所有割合：0%

譲渡前後のEMCOMが保有する英科睦軟件技術の所有持分の状況

(1) 異動前の所有持分	所有割合：100%
(2) 譲渡持分	100%
(3) 異動後の所有持分	所有割合：0%

5. 譲渡価格および算定根拠

英脈特信息技术持分の譲渡価格：金60百万円

英科睦軟件技術持分の譲渡価格：金40百万円

※本持分譲渡にあたり持分価額について公平性・妥当性を期すため、第三者機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社(東京都千代田区、代表 能勢元)による企業価値算定を実施いたしました。英脈特信息技术は株式を公開していないため、同社の純資産価額方式により持分価値を算定した結果、約43百万円となっております。また、英科睦軟件技術は株式を公開していないため、同社の純資産価額方式により持分価値を算定した結果、約50百万円となっております。

これら企業価値評価額をもとに、将来的な収益力の見積もりや、現時点での資産状況などから評価を行い、当社と持分譲渡の相手先である英極軟件との間で総合的に検討を行い協議した上で譲渡価格を決定いたしました。

6. 日程

(1) 取締役会決議	平成24年2月29日
(2) 持分譲渡契約締結	平成24年2月29日
(3) 持分譲渡実行日	平成24年2月29日

7. 今後の見通し

なお、本持分譲渡による当社の連結業績への影響につきましては、確定次第公表致します。

以上